



会 長	副 会 長		庶務理事	会計理事	事務局長
次 長	課 長	課長代理	係 長	担 当	受 付

8 高健対第 523 号  
令和 8 年 6 月 26 日

一般社団法人高知県医師会長 様

高知県健康政策部健康対策課長

全国がん検診指導者研修の周知について（依頼）

日頃は、本県の保健医療行政の推進にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

このたび、国立がん研究センターより、下記の「全国がん検診指導者研修」の実施について周知依頼がございました。

本研修は、がん検診における知識やがん部会の適切な運営方法等の理解を深め、指導者に必要な知識とスキルの習得を目的とするものであり、がん検診従事者にとって有意義な機会となるものと考えられます。

つきましては、貴医師会の会員及び関係機関に対し、本研修の周知をいただき、参加をお勧めいただきますようお願い申し上げます。詳細については、別添の通りです。

なお、既に開講しております「全国がん検診従事者研修（基礎）」および「全国がん検診従事者研修（実務）」につきましても、引き続き申込・受講を受け付けております。あわせてご周知いただけますと幸いです。

問い合わせ先

高知県健康政策部健康対策課 担当：武田・柳本

〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目2番20号

TEL：088-823-9674 FAX:088-873-9941

E-mail:130401@ken.pref.kochi.lg.jp

## 2026年度全国がん検診指導者研修プログラム

### 【概要】

主催：国立研究開発法人国立がん研究センター

受講期間：2026年6月22日（月）～2026年10月23日（金）【申込期限：9月30日（水）】

受講料：無料


開催方式：eラーニング（オンデマンド形式）教育研修管理システム <https://learning.ganjoho.jp/rpv/>

目的：がん検診における地域の課題解決を適切に指導するための知識や、がん部会の適切な運営方法等（主に医師向けの内容）について理解を深め、指導者に必要な知識とスキルの習得を目指します。

受講対象および申込・受講方法：別紙「**受講ガイド**」をご参照ください

事務局：国立がん研究センター がん対策研究所 検診研究部 検診実施管理研究室

### 【プログラム】

※ ：継続講義（更新年度）

講義名		内容 / キーワード	時間	講師
第1章 検診と診療の違い	 2025	・臨床医の多くが陥りがちな検診と診療のセッティングの違い （有病率が異なる点） ・集団医療と個別医療の違い	11分	前田 寿美子 （独協医科大学）
第2章 がん検診の原則	 2025	Wilson & Jungerの原則 ・検診の目的 ・有効性の評価 ・感度 / 特異度（トレードオフの関係） ・受容性	10分	鶴田 智彦 （大阪大学医学部附属病院）
第3章 がん検診の利益と不利益	 2026	・がん検診の利益 ・がん検診の不利益 （偶発症、偽陽性による精神的負担、過剰診断） ・利益 / 不利益バランス	16分	大田 浩司 （福井県立病院）
第4章 がん検診プログラム導入時の検討事項	 2024	・国指針での推奨の受け捉え方 ・導入に向けての検討項目	10分	中山 富雄 （国立がん研究センター）
第5章 がん検診精度管理（マネジメント）の意義と要点	 2024	・がん検診の精度管理とは ・精度管理の指標と手法 ・精度管理における関係機関の役割 ・がん部会に求められる活動	13分	小池智幸 （東北大学病院）
第6章 がん検診事業の評価と改善指導の実例	 2024	・自治体や検診実施機関への助言・指導 ・検診事業をどう評価するか？ ・具体的な助言例	10分	中山富雄 （国立がん研究センター）
第7章 SDM（Shared Decision Making, 共同意思決定）	 2026	・インフォームド・コンセントとSDMの基本概念 ・患者参加と価値観を尊重した検診の選択 ・PSA検診を例にみる利益と不利益・SDMの意義	14分	濱島 ちさと （帝京大学）

※受講対象、申込・受講方法、受講の進め方、受講にあたっての注意事項については、別紙「**受講ガイド**」でかみならずご確認ください。

### 【問い合わせ先】

・eラーニングの操作方法等、教育研修管理システムに関する問い合わせ

国立がん研究センター研修事務局（オスカー・ジャパン株式会社内）TEL:0422-24-6818（平日10:00～12:00、13:00～16:00）

**お問い合わせフォーム**（クリックすると問合せフォームが開きます。）

・研修内容に関する問い合わせ（メールでお送りください。）

国立がん研究センター がん対策研究所 検診研究部 検診実施管理研究室

E-mail: seminar-scr[at]ncc.go.jp ※[at]を@に置き換えて送信してください。

【参考サイト】 がん情報サービス: [https://ganjoho.jp/med\\_pro/training/official/cancer\\_screening\\_leadership/2026.html](https://ganjoho.jp/med_pro/training/official/cancer_screening_leadership/2026.html)

## 2026年度 全国がん検診指導者研修 受講ガイド

## 【主な受講対象】

- ・都道府県が設置する生活習慣病検診等管理指導協議会（胃がん部会、大腸がん部会、肺がん部会、乳がん部会、子宮がん部会）の関係者（部会長、副部会長等）、及び医師会関係者。
- ・都道府県及び市区町村の行政担当者、保健所職員、検診機関職員も受講は可能です。

※本研修は5がん共通の内容です。臓器別の要点は「全国がん検診従事者研修（実務）」をご受講ください。

## 【申込・受講方法】

- ・国立がん研究センターの教育研修システムよりお申込みのうえ、ご受講ください。
- ・本システムのユーザーIDをお持ちでない方は、新規アカウント登録を行ってください。  
 ※施設単位でのID発行はしていません。IDの譲渡・引継ぎはご遠慮ください。
- ・承認完了後、「研修承認のお知らせ」メールが送付されます（申込～承認完了までの目安2～3日）。
- ・講義資料は承認完了後、システム内よりダウンロード可能です。
- ・過去に取得したID／パスワード不明時、動作推奨環境については、システムトップページをご参照ください。  
 ※推奨環境以外で受講された場合、動画再生等に不具合が生じる可能性があります。

国立がん研究センター 教育研修管理システム：<https://learning.ganjoho.jp/rpv/>

## 【受講の進め方】

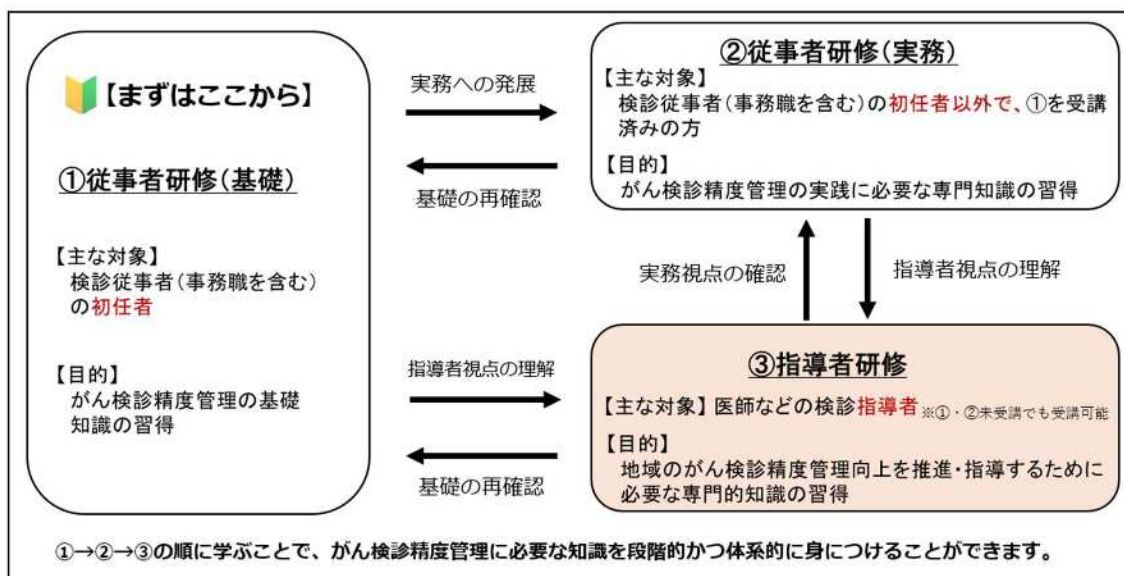
- ・担当業務や経験に応じて、必要な講義を選択して受講することが可能です。
- ・スマートフォンからも受講可能です（動作推奨環境を事前にご確認ください）。
- ・開催期間中は何度でも繰り返し受講できます。

## 【受講にあたっての注意事項】

※受講環境の制約等により、やむを得ず職場等で集団視聴となる場合は、以下の点にご留意ください。

- ・受講者全員が、個別にアカウント登録および申込を行ってください。
- ・視聴後のアンケート（システム内の研修最後にある「全体アンケート」）には、受講者全員が必ず個別にご回答ください。
- ・修了状況（システム上の修了判定）には反映されません。

## 全国がん検診研修の受講の進め方



## 2026 年度全国がん検診従事者研修（基礎）プログラム

### 【概要】

主催：国立研究開発法人国立がん研究センター

開催期間：2026年4月22日（水）～10月23日（金）【申込期限：9月30日（水）】

受講料：無料

開催方式：eラーニング（オンデマンド形式）教育研修管理システム <https://learning.ganjoho.jp/rpv/>

目的：住民検診に携わるとしてがん検診従事者において、がん検診の精度管理業務を行う上で必須となる基礎知識の習得を目指します。

受講対象および申込・受講方法：別紙「受講ガイド」をご参照ください

事務局：国立がん研究センター がん対策研究所 検診研究部 検診実施管理研究室

### 【プログラム】

講義名	講義時間	講師
第1章 がん検診の基本事項	約15分	高橋 宏和
第2章 がん検診の有効性評価	約6分	(国立がん研究センター)
第3章 がん検診の精度管理	-	町井 涼子 (国立がん研究センター)
(1)がん検診の精度管理とは	約12分	
(2)精度管理の手法	約12分	
(3)がん検診の精度管理指標1 チェックリスト	約14分	
(4)がん検診の精度管理指標2 プロセス指標	約11分	
(5)がん対策推進基本計画における精度管理の位置づけ	約13分	
第4章 受診率の向上	約12分	

※受講対象、申込・受講方法、受講の進め方、受講にあたっての注意事項については、別紙「受講ガイド」で必ずご確認ください。

#### ○問い合わせ先

・eラーニングの操作方法等、教育研修管理システムに関する問い合わせ  
国立がん研究センター研修事務局（オスカー・ジャパン株式会社内）  
TEL:0422-24-6818（平日 10:00～12:00、13:00～16:00）  
[お問い合わせフォーム](#)（クリックするとお問い合わせフォームが開きます。）

・研修内容に関する問い合わせ（メールでお送りください。）

国立がん研究センター がん対策研究所 検診研究部 検診実施管理研究室

E-mail：seminar-scr [at] ncc.go.jp ※ [at] を @ に置き換えて送信してください。

#### ○参考サイト

がん情報サービス：[https://ganjoho.jp/med\\_pro/training/official/cancer\\_screening/2026.html](https://ganjoho.jp/med_pro/training/official/cancer_screening/2026.html)

【主な対象者】

- ・住民検診の運営・実務に関わる方すべて（都道府県/市区町村/検診機関の職員、都道府県が設置する生活習慣病検診等管理指導協議会の関係者、医師会関係者など）
- ・本研修は、がん検診事業に新たに従事された方を主な対象として構成した**初任者向け**研修ですが、職種・経験年数を問わずご受講いただけます（復習目的の再受講可）。

【申込・受講方法】

- ・「国立がん研究センターの教育研修システム」よりお申込みのうえ、ご受講ください。
- ・本システムのユーザーIDをお持ちでない方は、新規アカウント登録を行ってください。  
 ※施設単位での ID 発行はしていません。ID の譲渡・引継ぎはご遠慮ください。
- ・承認完了後、「研修承認のお知らせ」メールが送付されます（申込～承認完了までの目安 2～3 日）。
- ・講義資料は承認完了後、システム内よりダウンロード可能です。
- ・過去に取得した ID / パスワード不明時、動作推奨環境については、システムトップページをご参照ください。  
 ※推奨環境以外で受講された場合、動画再生等に不具合が生じる可能性があります。

国立がん研究センター 教育研修管理システム：<https://learning.ganjoho.jp/rpv/>

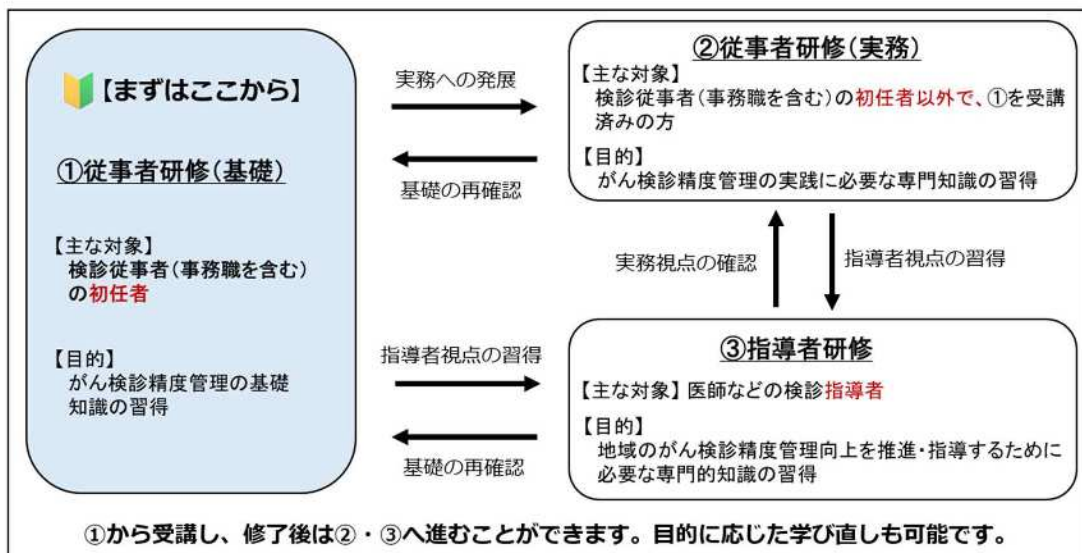
【受講の進め方】

- ・講義は**事前テストを受けた後、第 1 章から順番に受講**してください。（途中スキップ不可）  
 ※ 再視聴の場合は順不同でも視聴可能
- ・スマートフォンからも受講可能です。（動作推奨環境を事前にご確認ください）
- ・開催期間中は何度でも繰り返し受講できます。

【受講にあたっての注意事項】

- ※受講環境の制約等により、やむを得ず職場等で集団視聴となる場合は、以下の点にご留意ください。
- ・受講者全員が、個別にアカウントを登録および申込を行ってください
- ・視聴後のアンケート（システム内の研修最後にある「アンケート」）には、受講者全員が必ず個別にご回答ください。
- ・集団視聴の場合、研修内のテストはシステム上受験できません。
- ・修了状況（システム上の修了判定）には反映されません。

全国がん検診研修の受講の進め方



# 2026年度全国がん検診従事者研修（実務）プログラム

## ○概要

主催：国立研究開発法人国立がん研究センター

開催期間：2026年4月22日（水）～10月23日（金）【申込期限：9月30日（水）】

受講料：無料



開催方式：eラーニング（オンデマンド形式）教育研修管理システム <https://learning.ganjoho.jp/rpv/>

目的：がん検診の基礎知識を踏まえ、精度管理を实践するうえで必要な知識や技術の習得を目指す

受講対象および申込・受講方法：別紙「受講ガイド」をご参照ください

事務局：国立がん研究センター がん対策研究所 検診研究部 検診実施管理研究室

## ○プログラム

※ ：新規講義（2026年度） ：継続講義（改訂年度）

講義名	新規	内容／キーワード	構成	時間	講師
1. がん検診の精度管理の要点					
第1章 がん検診の有効性評価	 2026	ガイドラインに基づく検診の有効性評価の考え方を理解する	2本	15分	中山 富雄 (国立がん研究センター)
第2章 がん検診の精度管理		精度管理の全体像と基本手法・課題を体系的に理解する	7本	68分	町井 涼子 (国立がん研究センター)
第3章 がん検診の要点					
(1)胃がん検診の要点	 2025	内視鏡検診／チェックリスト／プロセス指標／精度管理の实践	4本	50分	小池 智幸 (東北大学病院)
(2)大腸がん検診の要点	 2025	便潜血検査／検診フロー／精度管理指標／チェックリスト	3本	24分	小林 望 (国立がん研究センター)
(3)肺がん検診の要点		問診／胸部X線読影／読影医要件／喀痰細胞診／システム管理	5本	35分	前田 寿美子 (獨協医科大学)
(4)乳がん検診の要点		問診・撮影・読影／マンモグラフィ／システムとしての精度管理	4本	36分	大田 浩司 (福井県立病院)
(5)子宮頸がん検診（細胞診）の要点	 2024	細胞診／検診フロー／チェックリスト／プロセス指標	3本	21分	森定 徹 (杏林大学)
2. トピックス					
(1)市区町村での精度管理業務の進め方のポイント	 2024	市区町村における精度管理業務の実践的な進め方を学ぶ	1本	12分	榎本 建志 (国立がん研究センター)
(2)プロセス指標の活用方法について①	 2024	プロセス指標の基本的な考え方と活用方法を理解する	1本	17分	高橋 宏和 (国立がん研究センター)
(3)プロセス指標の活用方法について②（Funnel Plot）	 2026	Funnel Plotを用いた評価手法と読み取り方を理解する	2本	24分	中山 富雄 (国立がん研究センター)
(4)杉並区事例－がん検診事業精度管理向上に向けた取り組み	 2026	自治体における精度管理改善の实践事例を学ぶ	1本	21分	高里 好子 (杉並保健所)
(5)がん検診精度管理におけるがん登録の活用	 2024	がん登録データを用いた精度管理の活用方法を理解する	1本	22分	松坂 方士 (弘前大学医学部附属病院)
(6)HPV検査単独法の導入について	 2025	HPV検査単独法導入の考え方と実務上のポイントを理解する	2本	24分	森定 徹 (杏林大学)

※受講対象、申込・受講方法、受講の進め方、受講にあたっての注意事項については、別紙「受講ガイド」でかみならずご確認ください。

## ○問い合わせ先

・eラーニングの操作方法等、教育研修管理システムに関する問い合わせ  
国立がん研究センター研修事務局（オスカー・ジャパン株式会社内）TEL: 0422-24-6818（平日10:00～12:00、13:00～16:00）

[お問い合わせフォーム](#)（クリックすると問合せフォームが開きます）

・研修内容に関する問い合わせ（メールでお送りください）  
国立がん研究センター がん対策研究所 検診研究部 検診実施管理研究室  
E-mail: seminar-scr [at] ncc.go.jp ※ [at] を @ に置き換えて送信してください。

○参考サイト がん情報サービス: [https://ganjoho.jp/med\\_pro/training/official/cancer\\_screening2/2026.html](https://ganjoho.jp/med_pro/training/official/cancer_screening2/2026.html)

## 2026年度 全国がん検診従事者研修 (実務) 受講ガイド

### 【主な受講対象】

以下の2項目に該当する方は、職種・経験年数を問わずご受講いただけます（復習目的の再受講可）。

- ・住民検診の運営や実務にかかわる方全て（都道府県/市区町村/検診機関の職員、都道府県が設置する生活習慣病検診等管理指導協議会の関係者、医師会関係者など）
- ・全国がん検診研修（e-learning）の受講履歴がある方

※今回初めて国立がん研究センターの全国がん検診研修を受講される方は、まず「2026年度全国がん検診従事者研修（基礎）」をご受講ください。基礎研修を修了後、本研修の申し込みが可能となります。

### 【申込・受講方法】

- ・国立がん研究センターの教育研修システムよりお申込みのうえ、ご受講ください。
- ・講義資料はシステム内よりダウンロード可能です。
- ・ID・パスワード不明時、動作推奨環境については、システムトップページをご参照ください。  
※推奨環境以外で受講された場合、動画再生等に不具合が生じる可能性があります。  
※本研修は個人単位での受講となります。IDの共有や引継ぎはご遠慮ください。

国立がん研究センター 教育研修管理システム：<https://learning.ganjoho.jp/rpv/>

### 【受講の進め方】

- ・担当業務や経験に応じて、必要な講義を選択して受講することが可能です。
- ・スマートフォンからも受講可能です（動作推奨環境を事前にご確認ください）。
- ・開催期間中は何度でも繰り返し受講できます。

### 【受講にあたっての注意事項】

- ※受講環境の制約等により、やむを得ず職場等で集団視聴となる場合は、以下の点にご留意ください。
- ・受講者全員が、個別にアカウント登録および申込を行ってください。
- ・視聴後のアンケート（システム内の研修最後にある「全体アンケート」）には、受講者全員が必ず個別にご回答ください。
- ・修了状況（システム上の修了判定）には反映されません。

## 全国がん検診研修の受講の進め方

